

行事予定

旭会バー稲荷

9月9日(月) 18:30~21:00

9月10日(火) 18:30~21:00

アトラクション

9月9日(月) 18:00~ 型抜き (会場: 会館の中)

19:30~ 花火

9月10日(火) 18:00~ マリキータ 南米民族音楽の演奏

(フォルクロール) コンドルは飛んでゆく

18:00~ 抽選会の券販売

19:00~ 抽選会 開始





大勢の皆さまのご参加を 心よりみ待ちしてみります。



スナック メンズクラブ

仲町4

SMOKE & BEER ORION

仲町4

有限会社 ベルこばやし"桜の家"

藤巻

王華飯店

仲町3

有限会社 スタジオ藍丸

大町5

五 / 辻稲荷神社 総代会

大町5

ハッピー駐車場

大町5

新潟道徳運輸株式会社

頸城区榎井

肉のいろは

本町5

株式会社 樫野商店

本町6

スナックマリーナ

仲町3

居酒や 蔵明(くらがり)

本町5

居酒屋 わたる

仲町3

株式会社レンタルサービス

新光町

石川シール

大町5

合同会社 ニトデザイン&リビルド

仲町4

米やのコシヒカリ弁当

大町4

医療法人社団 木村歯科クリニック

木田1

城北設備工業株式会社 大町5					
オフィスたてぐや北川大町					
oomachi V (त्रत्रपर्म १-)					
デントリペア上越					
合名会社 春陽館書店	本町4	雁木の街再生	南城3		
岸波ネーム刺繍	本町7	理容小林	東本町1		
きものの小川	本町7	有限会社 笹川菓子店	西城3		
医療法人社団 佐藤歯科医院	本町6	大工 吉本	上中田		
有限会社 山田損保事務所	北城4	カクシン株式会社	本町7		
渡辺鮮魚店	大町4	宝来軒 総本店	大町4		
割烹せがわ	本町7	徳永自動車整備工場	是 幸町		
内藤塗料 株式会社 茨洲	尺西浦	寿し処 なかに	仲町4		
鳥新	仲町4	有限会社 樋口建設	南本町1		
渡辺青果物食料品店	大町4	株式会社大谷ビジネス	人 本町7		

協賛各社(順不同)

すし芳	北本町1	大山酒店	大町4	
加藤鮮魚店	仲町6	_{株式会社} バーツ・プロダクション	西城2	
ヘアーサロン小林	仲町2	株式会社 一印 上越魚市場	木田3	
ラーメンガキ大将 高田	店 本町6	とりそば処 ぬまのアジト	大町4	
有限会社 木村酒専	仲町3	上海	北本町2	
カットサロンまるやま	北本町2	music cafe & bar 308	仲町3	
フジタ理容室	大町5	オオエ理容所	大町5	
秋山商店	大町5	五十嵐塗装店	大町5	
有限会社 中野商店	大町5	株式会社 クライムテック	大町5	
COFFEE AND SANDWICE		空のおもちゃ箱	大町4	
ダイニングバー&パブリックビュ LUXES (ルグゼス)	.ーイング 仲町4	株式会社 小島	東本町4	
酒のほんだ	本町5	Gangi Brewing	大和2	
有限会社 宮崎ガラスに	5 大町4	株式会社 土田電機商会	大町4	
NPO 街なみFocus 大町5				

おしながき

旭会バー稲荷コーナー

生ビール400円日本酒200円ノンアルコール100円ジュース100円枝豆200円おつまみ(乾物)100円





中華料理王華飯店コーナー

焼きそば 550円 春巻(2本) 450円 フランクフルト 200円 赤飯(限定30個) 400円 各種サワー 400円



紹興酒、ドラゴンハイボール

街なみfocusコーナー

クジラ汁(10日のみ) 400円



夏バテ回復にどうぞ!



かぼちゃ祭について

五ノ辻稲荷神社の秋季大祭が「かぼちゃ祭り」と呼ばれ始めたのは二百五十年近くも前のことです。 天明二年から始まった全国的な大凶作は七年間にわたる長いものでした。

時の高田城主榊原政永は乏しい藩の財政の中から住民のための支出をどうにか拠出し、また良民や資産家の援助を得て、被害を最小限に食い止めることができたと言われています。またこの時長恩寺(現天崇寺)の住職旭専が同宿の門徒を誘って托鉢し、喜捨を集め、粥を炊いて施したことは有名な話となっています。

当時この五ノ辻稲荷神社の神主は中島左近藤原泰則であり、彼は新上村(現東頚城郡大島村の本山家からの養子でした。江戸で学んだものか、彼は農業に詳しく、そのころまだ普及していなかったカボチャの栽培を農民に指導いたしました。

「ニホンカボチャ」の渡来は、天文年間(一五三二~一五五四)で、ポルトガル船によって豊後(現在の大分近郊)か長崎にもたらされたと思われます。「ニホンカボチャ」はやや高温多湿であることを好み、土質は選びませんが、一般的には砂土か壌土に適しています。栽培が簡単で病害虫が少なく、貯蔵性にも富んでいるので、冬季の長い越後には最適な農作物であったのでしょう。

そして中島左近は、時期、幾たびか自らが中心となって積極的に「カボチャ」の炊き出しをしました。この炊き出しそのものがどれほど救済に寄与したのかは不明ですが、カボチャの栽培はこれをきっかけに、大きな威力を発揮するようになりました。 飢饉に教訓を得た農民は、カボチャを作るようになり、折からの高田藩の積極的な殖産事業と相まって藩財政は豊かになり、農作物の収穫も上がって、次に襲った天保の大飢饉には、領内に一人の餓死者も出さなかったと言われています。

五ノ辻稲荷神社の秋祭りは、以前は旧暦の八月九日・十日に行われていましたが、(現在の九月九日・十日になったのは明治になってから)季節はまさにカボチャの最盛期であり、近郷在住の農民は御神徳に感謝するとともに中島左近にちなんで沢山のカボチャを油揚げ(稲荷神社ゆえ)とともに神前に供えたということです。

そういったこともあり、人々は昔からこの五ノ辻稲荷神社の秋祭りを「カボチャ祭り」といいならわし、祭礼は、大変なにぎわいを呈してまいりました。かつては、特に宵宮で踊る"盆踊り"は壮観であり、また町内には笛・太鼓・三味線の名手も多く、この調べに乗って群がる老若男女は境内(現在より一回り大きかった)からはみ出してついに長門町(現東本町一丁目)近くまで、二重三重の輪になって広がったと言うことです。

現在では地元大町五丁目の方々が中心となって、お祭りの際には、従来の"盆踊り"のほか色々なアトラクションを企画し、それが話題を呼んでいます。

「かぼちゃ祭」は時代の流れに柔軟に対応しながらも、その根本は揺るぐことなく、ずっと土地の 人々に親しまれているのです。



https://gonotsujiinari.jimdofree.com/かぼちゃ祭りについて/ (五ノ辻稲荷神社HPより)